

首長の改選を控えた施政方針について



自民党 松田 だいすけ

市長の国家観と世界秩序について

- 問** 市長のいう国際協調、平和外交を基軸にしたリーダーシップとはどのようなものか。
- 答** 外交におけるリーダーシップには経済力や資源、軍事力、国際的な信頼などが影響を及ぼすが、我が国は歴史的教訓により平和主義を貫いてきたことによる信頼がある。その信頼を礎に排外主義的な発想とは一線を画して国際協調や平和の面で存在感を示していくべきという意味を込めている。
- 問** レアアース等の国産化が可能になれば、超大国の経済的威圧に対して日本が主体となる平和的な対抗力になると考えるがいかがか。
- 答** 資源面での弱みを補うことができれば、国際社会における発言力や外交交渉にも良い影響が出てくるものと考えます。

抄をある程度の頻度で公表してはいかがか。

- 答** 市民の関心が高い重要事項である。協議の進展状況に応じ、適時適切に情報提供を行う。
- 問** 首長5選は多選と言われる。多選禁止や多選自粛の条例を制定する自治体もあるが見解を伺う。
- 答** 多選の弊害については理解している。それが当てはまるのは、自身のまちづくりに対する情熱が失われたときだと思っている。
- 問** 市長はしばしばシンポジウムや会合の冒頭に、国に対して怒りや、遺憾の意を述べられてきた。為政者としての立場を考えると時と場所によっていかがなものかと思う場面もある。アイスランドという国家から叙勲を賜る首長として表現に気がつけたほうが良いかと思うが見解を伺う。
- 答** シンポジウムや会合等で発言をする際、時に力が入り過ぎることもあったかと思う。ご指摘をしっかりと受け止め、ご助言に感謝する。

多選といわれる5選目出馬について

- 問** 日本医科大学多摩永山病院建替の再協議の進

「軍拡に暴走する」国の悪政から市民の暮らしを守ろう！



日本共産党 小林 憲一

暮らしを守る観点から国政の評価を問う

- 問** トランプ大統領の動向への評価を伺う。
- 答** 国際社会での法の支配をないがしろにしていることを憂慮する。気候危機でもIPCCの科学的基礎を否定する十分な根拠を示せていない。
- 問** トランプ政権を一切批判しない高市政権への評価、トランプ政権からの軍備拡大要求についてどう考えるか。
- 答** 歴史的教訓のもとでの平和主義を貫いてきた日本への信頼を基礎にして、排外主義的な発想とは一線を画した国際協調や平和の面で存在感を示していくべきだ。この平和主義を踏まえ、防衛費のありかたも議論されることが重要。

を行うべきと考えるが、いかがか。

- 答** 国交付金を活用し、市民一人4千円のギフトカードの全市民への配布、キャッシュレス決済ポイント還元事業などを行っていく。
- 問** 地域公共交通を確保すべき。いかがか。
- 答** 近隣自治体と連携し交通課題を共同で提起し、制度改善につながる提案を行っていく。
- 問** 統一協会研修施設建設を白紙に戻させる課題をどうするか伺う。
- 答** 高裁での解散命令判決が出れば、統一協会所有地が「賑わいや雇用の創出の場を実現する利用」がなされるよう次の動きをとっていきたい。
- 問** 再エネ・省エネ促進、原発ゼロをめざすべきと考えるが、いかがか。
- 答** 市の非核平和都市宣言にある「原子力に代わる、人と環境に優しいエネルギーを大事にしていきます」という思いを大切にしていきたい。

統一協会所有地の市民本位の新しい利用を

- 問** 「施政方針」の「社会で弱い立場にある存在にしっかりと目を向ける姿勢を貫いていきます」を踏まえ、物価高騰のもとで市民の暮らしを支える施策

